

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 2科目 120分 選択区分・学類により 1科目 60分

## 解答形式

記述式

## 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

例年どおり大問数は3題であり、全体の分量も昨年と同程度であった。

数値を用いた計算や論述の量が減少し、昨年に比べてやや易しくなった。

## 出題の特徴や昨年との変更点

例年、理論または理論・無機の総合問題が2題、有機が1題の問題構成であり、出題のウェイトは理論>有機>無機の順であるが、今年は無機分野からの出題がなかった。論述問題は昨年の1題から2題に増加したが、その内容は平易なものであった。計算過程を記述する問題は、昨年に引き続き出題されなかった。

## その他トピックス

特になし。

## &lt;大問分析&gt;

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I 問1 問2 問3 問4 問5	記述	理論	化学基礎 化学	マンガンの化合物	やや易
	記述			酸化還元反応の化学反応式	やや易
	記述, 計算			Mn <sup>2+</sup> とEDTAの反応	やや難
	記述, 論述			過酸化水素の分解反応	やや易
	記述, 論述, 選択			電池	標準
II 問1 ∪ 問3 問4 ∪ 問6 問7	記述, 計算	理論	化学	電気分解	やや易
	記述, 計算			気体, 電気分解	標準
	記述, 計算			電気分解	やや易
	選択, 記述			フェーリング液の還元	標準
	記述			C <sub>4</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub> の脂肪族化合物の構造決定	標準
III 問1 ∪ 問3 問4 ∪ 問6 問7 ∪ 問10	記述, 計算, 選択	有機	化学	高分子化合物	標準
	記述				
	記述				
	記述				

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

幅広い分野から出題される。ただし、その大半が基礎～標準的なレベルの問題である。したがって、教科書の全範囲にわたって万遍なく、基礎事項を確実に身に付けておこう。

論述問題が必ず出題されるので、ポイントを整理し、要点を簡潔に記述する練習をしておこう。